

尾張北部自然観察会

2024年9月7日(土) 晴れ

参加者 指導員8名 一般10名 計18名

上矢作町のアライダシ原生林を訪れました。天堤駐車場を出発し林内の溪流を何度か渡るうちに、林道脇では咲き始めたアケボノソウの群生が出迎えてくれました。標高1100mの自然観察教育林の出発点からは遊歩道に沿ってミズナラ、ヒノキ、サワラ、モミ等の大木、根上がり木、共生木を観察していきました。落ちているツガやコメツガやモミの球果の違いを確認し、ダケカンバの樹皮に触れたり、アブラチャンの葉の匂い、ミズメの樹皮の匂い、キハダの樹皮の苦みなども体感しました。ブナの群落では樹形だけでなく葉脈と鋸歯を見、イヌブナには葉裏の脈上に毛があることに注目しました。

多種類の針葉樹、広葉樹、山野草に出会え、下界の猛暑を忘れて自然林を満喫した観察会でした。(後藤)
[その他観察したもの]

ヤマキツネノボタン、ゲンノショウコ、テバコモミジガサ、チヂミザサ、クマイザサ、ツノハシバミ、ツタウルシ、ナツツバキ、コミネカエデ、コハウチワカエデ、ヒナウチワカエデ、コハクウンボク、オオバアサガラ、タンナサワフタギ、ケケンポナシ、サワシバ、クマシデ、イヌシデ、ミズキ、ハリギリ、オノエヤナギ等

